

担当講座	救急・災害医学講座	問合せ先	救急・災害医学講座
分野責任者	眞瀬 智彦 教授	連絡先	内線 2682
担当教員	眞瀬 智彦 教授 高橋 学 准教授 藤田 友嗣 講師 菅 重典 特任講師 佐藤 正幸 助教 小守林 靖一 講師 (岩手県高度救命救急センター)		
人材育成の 基本理念	「医の原点」であり、且つ、根源的医学と位置づけられる救急医療を体得し、的確な診断と処置を自ら実践できる医師を育成する。		
主な研究内容	救急疾患により生じた臓器不全の病態把握、早期診断ならびに集学的治療についての研究を行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	患者、家族、医療従事者などの質問や助言に真摯に耳を傾けることができる対話能力をもって、医療面接・診察・検査を行い、最新かつ最善の知識と技能を習得する自己研鑽の姿勢を持って診断し、社会正義と患者の福祉優先原則のもとに行動する倫理的態度によった治療法を会得することで、緊急性の高い患者に対する適切で迅速な診療を学修し、的確な診断と処置を自ら実践できる。	4, 5, 6, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究 I II III	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる (英文が望ましい)	特別研究 I II III	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	救急医学1～6、特別研究 I II III	
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究 I II III、大学院セミナー	
	(7)急性臓器不全の早期診断と治療ができる。	救急医学1～6	
(8)種々の病態の説明ができる。	救急医学1～6		
資格取得等	日本救急医学会救急科専門医。		
履修に関する 情報	入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。 問い合わせ先：救急医学分野・内線 2682		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	1～4年	演習 救急医学1	通年	30	4	20単位	※20単位以上の取得可
		演習 救急医学2	通年	30	4		
		演習 救急医学3	通年	30	4		
		演習 救急医学4	通年	30	4		
		演習 救急医学5	通年	30	4		
		演習 救急医学6	通年	15	2		
特 別 研 究	2年	特別研究 I (初期審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究 II (中間審査)	通年	8	1		
	4年	特別研究 III (論文作成)	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

救急医学

コード	MD15231010				MD15231020				MD15231030				MD15231040			
科目	救急医学1				救急医学2				救急医学3				救急医学4			
科目責任者	眞瀬智彦				眞瀬智彦				眞瀬智彦				眞瀬智彦			
担当者	高橋学				佐藤正幸				高橋学				小守林靖一			
会場	6Cカンファレンスルーム				6Cカンファレンスルーム				6Cカンファレンスルーム							
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	体液管理				ACLS				ショックの管理				意識障害			
教育成果	体液組成、体液異常（分類、成因、治療）について説明できる。				心肺停止の分類、診断、治療について説明できる。				ショックの分類、診断、治療について説明できる。				意識障害の分類、診断、治療について説明できる。			
SBO	分野の達成目標 5, 7, 8				分野の達成目標 5, 7, 8				分野の達成目標 5, 7, 8				分野の達成目標 5, 7, 8			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠けは履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。レポートを課した場合は、採点后コメントを付けて次回講義時に返却する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MD15231050				MD15231060				MD15239010				MD15239020			
科目	救急医学5				救急医学6				特別研究 I				特別研究 II			
科目責任者	眞瀬智彦				眞瀬智彦				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	藤田友嗣				菅重典				各指導教員				各指導教員			
会場	6Cカンファレンスルーム				6Cカンファレンスルーム				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3
主な授業内容	中毒				熱傷				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備			
教育成果	中毒の診断、治療について説明できる。				熱傷の重症度、診断、治療について説明できる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			
SBO	分野の達成目標 5, 7, 8				分野の達成目標 5, 7, 8				分野の達成目標 3, 4, 5, 6				分野の達成目標 3, 4, 5, 6			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠けは履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。レポートを課した場合は、採点后コメントを付けて次回講義時に返却する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

コード	MD15239030						
科目	特別研究Ⅲ						
科目責任者	各（正）指導教員						
担当者	各指導教員						
会場	各指導教員と相談の上決定						
区分等	区分	演習	単位	2			
	回数	通年15コマ	配当年次	4			
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 						
教育成果	<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>						
S B O 目 標 達	分野の達成目標 3, 4, 5, 6						
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。						
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。						
講義日程	時間割参照						
教科書 参考書							

●時間割

救急医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						救急医学6/共通教育科目
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30		救急医学2	救急医学4	救急医学5		
6 限	19:40~21:10	救急医学1	救急医学3	特別研究Ⅰ~Ⅲ			
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						救急医学6/共通教育科目
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30		救急医学2	救急医学4	救急医学5		
6 限	19:40~21:10	救急医学1	救急医学3	特別研究Ⅰ~Ⅲ			

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						